

誕生日祝い

新藤 信夫 (13 日)
押野 一郎 (15 日)
川崎 春夫 (28 日)
谷口 剛 (29 日)
各会員



ロータリーの友 解説



■ 広報委員会 委員長 風岡 淳一
● 横組

P.4~5 RI 会長メッセージ

裏千家の大宗匠、千玄室さんは京都南 RC 会長、第 2650 地区のガバナー。第二次世界大戦でアメリカ海軍に従軍し、ガバナーを 2 期務めた 100 歳のロータリアンと千さんは第二次世界大戦で敵国として従軍した過去を持っているとか。

RI 会長はこの二人が平和構築者としてロータリーを選んだことに感動。相違点よりも共通点の方がずっと多いことに気づかされましたとのこと。

P.22 ガバナーのロータリーモメント

細淵雅邦ガバナーの記事が掲載されています。

● 縦組

P.4~8 河野通洋さんのスピーチ

河野さんは、陸前高田市で醸造業、株式会社八木澤商店の 9 代目の社長を務め、陸前高田市での企業を支援する事業に携わり、発酵をテーマにした商業施設「CAMOCY」を主宰。

遠山正瑛先生をテレビで知り、広大な砂漠地帯で行う大規模農業を学ぶためアメリカに留学。河野さんは留学先で、自分が生まれた国や地域のことをよくわかっていないことに気づき、地元の陸前高田市が少子高齢化が進んでいる原因を地元中小企業経営者たちと考えるように。その結果、若者がこの町に残りたいと思うような仕事をつくり、若者を雇用していくことが必要と考えました。

リーマンショックも乗り越えましたが、2011 年に東日本大震災が。河野さんは、復興まちづくり会社を立ち上げ、学生たちに町に残ってもらうべく雇用を創出。震災から 1 年後、「なつかしい未来創造株式会社」は雇用創出という役割を終え、起業の手助けという地域創造の支援事業を行うように。河野さんは「自給自足できる食料とエネルギーを増やし、その中で生まれてくる付加価値の高いもので外貨を獲得すれば、人口が減ったとしても幸せや豊かさを享受できる」と語っています。さらに、「本当に誰かのために、自分の持っている限りの知識と技術をふんだんに生かして仕事を行うことを目的として生きていく時代になるはず」と語っています。

P.23 ロータリーアットワーク写真編

埼玉ゆず RC が特別養護老人ホームに電子ピアノを寄贈。

卓 話

卓話者ご紹介

■ 米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香



卓話者

国際ロータリー第 2770 地区
米山学友会 監事
田 敏 (ジョンミン) 様



米山学友としての日韓かけはし

1. 自己紹介

出身：韓国ソウル市
1983 年 (S.58) 8 月生まれ
来日：2007 年 3 月
文教大学大学院 越谷キャンパス
言語文化研究科 第二言語習得コース
修士 (日本語教育学専攻)
2009 年 4 月から米山記念奨学生として採用 (越谷南 RC)
2010 年 3 月卒業 & 修了 → 韓国帰国
(当時リーマンショックの影響)



小学生の頃、世界企業順位 世界 50 企業中日本企業 33 社、世界 20 企業中日本企業 16 社
日本へ憧れを持ち始めた昭和時代

シンデン・ハイテックス株式会社

(東京証券取引所 JASDAQ スタンダード)

東京中央区入船 (八丁堀/築地)

IT・半導体 (エレクトロニクス) 商社

社員：約 100 名 年商：約 450 億円

韓国 SK Hynix, LG 電子などの日本国内代理店

売上の半分以上が韓国製品!!

※工事、部材関連は 2770 地区内 ロータリアン会社に依頼

2. 米山奨学生生活時代 (2009.4 ~ 2010.3)

2009-10 世話クラブ：越谷南 RC

2009.11.14~16 地区大会

日韓通訳デビュー & 3750 地区との出会い

2010.1.9~14 インターアクト訪日

2023.2.4~9 インターアクト訪日

インターアクト通訳は、米山奨学生だとスムーズにできる。ロータリーの仕組み、両地区の歴史がわかる、人間関係があるため。

- ・世話クラブの方々と行動して子供の時はどうしても理解できなかった父親の活動が理解できた。(尊敬が変わる)
- ・社会人になる前に必要な常識やマナーなどを学んだ。
- ・リーダーシップのある人材になりたい。
- ・米山奨学事業の趣旨でもある日本と母国 (韓国) の「懸け橋」になりたい。
- ・2770&3750 両地区間の交流に携わっていきたい。(後輩の養成)

3. 学友としての活動

・毎年 敬老の日 老人ホーム訪問 日本のおじいちゃんおばあちゃんたちと交流。「昔は、戦争など色々あったが、これからは仲良くしていこうね」と言われています。

・コロナ禍で

学友たちから寄付金を集め (海外住まいの学友も)、毎年

敬老の日奉仕活動でお馴染みの両施設にマスクを寄贈

・ロータリアンと合同 / 春・秋の親睦 バス旅行企画実行

・2021.10.10 第 1 回 ゴミ拾い運動 (Clean Up Walking)

第 1 G エリア内 (浦和)

2022.4.2 第 2 回 ゴミ拾い運動 (Clean Up Walking)

第 2 G エリア内 (与野)

2022.6.4 第 3 回 ゴミ拾い運動 (Clean Up Walking)

第 3 G エリア内 (大宮)

2022.10.2 第 4 回 ゴミ拾い運動 (Clean Up Walking)

第 4 G エリア内 (岩槻)

・2023.8.5 米山学友 世界大会

ホスト地区 (10 地区) の活動のプログラムとして各地区で奉仕活動リレーを行い、その際、募金をする企画

募金先：認定 NPO 法人 Learning for All

お世話になった日本で貧困のため教育を受けない子供がたくさんいることから教育で支援したい (恩返し)

・公式行事以外、日頃からロータリアンと学友・奨学生が仲良く交流できる環境はなかなかない (当 2770 地区の強み)

日頃からパストガバナー、歴代委員長 & ロータリアンと学友・奨学生が仲良く交流できる環境はありがたい

・2021-22 年度 (藤嶋部門委員長) 記念文集制作・発行